

名古屋大学医学部附属病院

1. 献腎移植を行う体制

腎移植医の人数: 泌尿器科 4 人、腎臓内科 3 人、精神科 1 人

(うち、日本臨床腎移植学会腎移植認定医の数 2 人)

氏 名	学会認定医・専門医
泌尿器科	
松川 宜久 (准教授)	日本泌尿器科学会指導医・専門医、 泌尿器腹腔鏡手術技術認定医
石田 昇平 (講師)	日本泌尿器科学会指導医・専門医、日本臨床腎移植学会認定医、 日本移植学会移植認定医、泌尿器腹腔鏡手術技術認定医
佐野 優太 (助教)	日本泌尿器科学会指導医・専門医、日本臨床腎移植学会認定医、 日本移植学会移植認定医、泌尿器腹腔鏡手術技術認定医
佐野 友康 (病院講師)	日泌尿器科学会泌尿器科専門医・指導医、 泌尿器腹腔鏡手術技術認定医
腎臓内科	
丸山 彰一 (教授)	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・内科指導医、 日本腎臓学会専門医・指導医、日本透析医学会専門医・指導医
田中 章仁 (病院助教)	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・内科指導医、 日本腎臓学会専門医・指導医、日本透析医学会専門医・指導医
尾関 貴哉 (病院助教)	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、 日本腎臓学会専門医・指導医、日本透析医学会専門医・指導医
精神科	
木村 宏之 (准教授)	日本総合病院精神医学会指導医・認定医、 日本精神分析学会認定精神療法医

手術に関する体制

緊急手術: 可、緊急血液透析: 可、緊急検査体制: 可

移植術に対する麻酔科医、透析医の参加: 有

手術後の経過観察の体制

腎臓内科医の参加: 有、免疫抑制剤の血中濃度測定: 有

献腎移植希望登録後の体制

フォローアップ(外来定期受診): 有、説明会: 有

その他のスタッフの体制

リエゾン精神科医、臨床心理士等、心理の専門家: 有

レシピエント移植コーディネーター: 有

その他腎移植に関係する専門スタッフ: 病棟薬剤師、ケースワーカー、院内移植コーディネーター

2. 献腎移植の成績

献腎移植総数: 22 例 生着率: 1 年 100%、5 年 100%

3. 特色

名大病院では腎臓内科が中心になり腎不全患者を総合的に診察しています。泌尿器科は CAPD 患者の手術、生体腎移植、献腎移植、血液透析患者の手術を行っています。腹腔鏡下腎手術では世界有数の症例数があり、生体腎移植でのドナー腎摘出術は腹腔鏡下で行っています。生体腎移植は 1998 年より開始し、献腎移植は 2004 年より泌尿器科が担当しています。

腎移植はもはや特殊な医療ではなく、地域の病院で行われるべきとの方針で、愛知県下の名古屋大学医学部泌尿器科関連の 4 病院でグループを構成し、その下で協力し、各地域で腎移植の医療を提供しています。グループ内では緊急時の応援態勢、症例検討会、共通の治療計画に基づく

